

μPD7210C/D

GPIB インタフェース・コントローラ

μPD7210 GPIB-IFC (General Purpose Interface Bus-Interface Controller) は、マイクロプロセッサの制御の下で、IEEE Std 488-1978に規定されたインタフェース・バスとマイクロコンピュータ・システムとのインタフェースを行います。

特 徴

- IEEE Std 488-1978で規定された全インタフェース機能を持つ。
 - ・SH1, AH1, T5/TE5, L3/LE3, SR1, RL1
 - PP1/PP2, DC1, DT1, C1, C2, C3, C4, C5
 - プログラマブル・データ転送レート
 - 16個のレジスタ
 - ・リード・レジスタ(8個), ライト・レジスタ(8個)
 - ・メッセージ送受信, インタフェース・ファンクション制御, ステータス情報等
 - 2個のアドレス・レジスタ
 - ・MTA, MLA, MSAの検出
 - ・2つのデバイス・アドレス
 - 13種類の個別にマスク可能な割込ソース
 - EOSメッセージの自動検出
 - コマンド (IEEE Std 488-1978規定) の自動処理
未定義コマンド読出し可能
 - DMA動作可能
 - プログラマブルなバス・トランシーバ入出力指定
 - 1~8MHzクロック
-
- TTLコンパチブル
 - NチャンネルMOS
 - +5V単一電源
 - 40ピン・プラスチックDIP
μPD7210C (P40C-100-600A)
 - 40ピン・セラミックDIP
μPD7210D (P40D-100-600A, P40DH-100-600A)

端子接続図 (Top View)

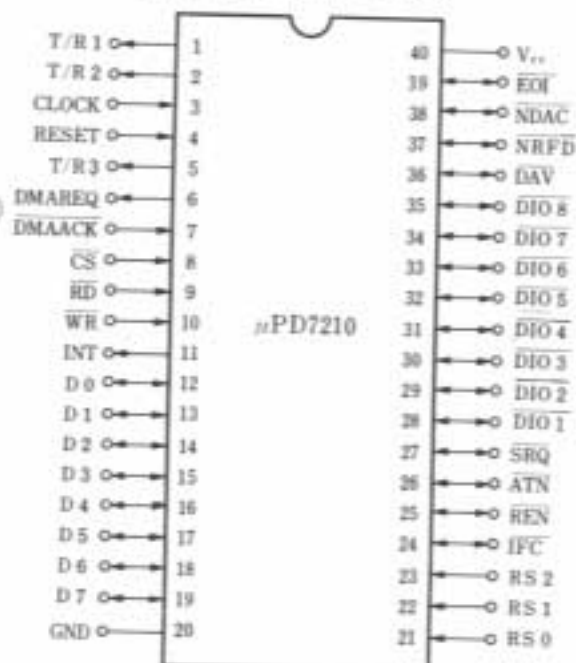


図-1 ブロック図

